

令和8年3月2日

J A中野市園芸課

J A中野市プラム部会

- 本年は積雪量が平年より少なく、気温も平年より高く推移しており、平年よりも生育が早まると予想されます。
- 春季は気象変動が激しく品種・地域によって生育の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(参考：平岡地区 過去発芽日 R8 発芽予想)

太陽	平年	R8	R7	R6	R5	R4
発芽日	3/24	3/23頃	3/27	4/1	3/23	4/3

1. 薬剤散布

【第1回 定期防除】 対象病害虫：ふくろみ病・カイガラムシ類

散布時期	発芽前 ・プラム : 3月中旬 (右写真 参照) 南部地域は3月上旬頃～ ・プルーン : 3月中下旬～	プラム「ふくろみ病」防除時期  花蕾が開き始めるまでに散布する。
散布薬剤	水 98ℓ トレノックスフロアブル 200ml スプレーオイル 2ℓ	散布日 _____ 月 _____ 日 散布量 _____ ℓ
散布量	300ℓ / 10a	
注意事項	① <u>【カイガラムシ強化対策】</u> アプロードフロアブル 1,000倍 (14日前、2回) を加用する。 ② <u>【ふくろみ病 対策】</u> トレノックスフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤 140倍を散布する。 <u>※他の園地や隣接するハウスビニールに飛散しないように注意する。</u> 石灰硫黄合剤を散布出来ない場合は、ナリアWDG2,000倍 (前日、2回) を加用する。	

裏面もご覧ください。

## 2. 重要病害虫

### ① ふくろみ病

**越冬場所**：樹上（主に芽の周辺）

**防除対策**：石灰硫黄合剤、トレノックスフロアブル（ナリア WDG2,000 倍）を加用する。

被害果実の除去。

**防除適期**：発芽前、花蕾が開き始めるまでに（休眠期および第1回定期散布）



開き始めた頃～)  
この頃から、降雨により感染する。

### ② ウメシロカイガラムシ

**越冬場所**：樹上（主に枝の表面）

**防除対策**：①マシン油乳剤（スプレーオイル）、殺虫剤の散布

②ワイヤーブラシで擦り落とす。被害枝を切除する。

**防除適期**：休眠期（スプレーオイル散布）、5月中下旬（殺虫剤散布）

ウメシロカイガラムシ越冬成虫

（白い殻を剥がすとオレンジ色の成虫が見える）

